令和５年度　秋期　システム監査技術者試験　採点講評

午後Ⅰ試験

問１

問 1 では，EC サイトにおけるクレジットカード情報保護の監査を題材に，カード情報の漏えい対策を含めた情報セキュリティ対策に関して，EC サイト運用に伴うリスク，コントロールの有効性の検証に必要な監査証拠を含め，適用すべき監査手続について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問 2(i)は，正答率がやや低かった。解答として求めているのは“対策”であり，問題文の文脈から“基準”又は“規程”は当てはまらないことを理解してほしい。

設問 3 は，正答率が平均的であった。設問では“ネットワーク型侵入防御システムにおけるリスク”を問うたが，直接関係のないリスクについての解答が散見された。設問の趣旨を正確に把握してほしい。

設問 4 は，正答率が平均的であった。“改ざん監視対象ファイルリスト”と比較する対象は，Web サーバ内の監視対象ファイルそのものの内容ではなく，“Web サーバ内の監視対象ファイルのリスト”であるが，その区別ができていないと思われる解答が散見された。比較対象となり得る監査証拠を識別する必要があることを理解してほしい。

問２

問 2 では，ローコード／ノーコード開発ツールを利用したシステム開発の監査を題材に，開発ツールを効果的に活用していく上でのリスクや開発手法の標準化に関する監査手続について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問 1 は，正答率はやや高かった。“短期間・低コスト”で開発できるという利点と直接関連しない解答も散見された。リスクを問う設問ではあるが，一般的なリスクではなく，監査要点に沿ったリスクを把握することが重要である点を理解してほしい。

設問 5 は，正答率が平均的であった。管理ルールが運用開始前にもかかわらず，実際のドキュメントを査閲して“分かりやすい記述になっていることを確認する”といった趣旨の解答が散見された。本設問は，管理ルール案の適用前に確認すべきことを問うており，運用段階の監査ではないことを理解してほしい。

設問 6 は，正答率がやや低かった。ログの種類や操作ログによる不正検知などの解答が散見された。ログの取得だけではなく，“ログの保全”に関する要件まで理解してほしい。また，監査手続や監査ポイントなど設問の趣旨と異なる記載も多く見られた。システム監査実務では，必要なコントロールを理解して，それが有効に機能しているかという観点で監査手続を検討する必要があることを理解してほしい。

問３

問 3 では，人材管理システムの監査を題材に，人材管理業務遂行のためのシステムの導入と運用に関するリスク，及び監査の観点及び監査手続について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問 1 は，正答率がやや低かった。単に人事情報の閲覧というだけではなく，人事異動に伴う閲覧権限の変更を理解して，リスクを明確に捉えてほしい。

設問 3 は，正答率は平均的であった。正確性は確保できているが網羅性が確保できているとはいえないという問題文での説明を踏まえて，どのような統制が期待されているかを理解してほしい。

設問 5 は，正答率はやや高かった。業務におけるリスクには，単なるそごや過失だけでなく，良い評価を得たいといった動機的な原因が不適切な行動を喚起する場合もあることを理解してほしい。

設問 6 は，正答率が低かった。業務効率向上の効果算定は，システム導入において不可欠な活動であり，その監査の観点はよく理解しておいてほしい。